

2019 授業科目〈シラバス〉

Okinawa Prefectural University of Arts Syllabus

沖縄県立芸術大学
美術工芸学部

授業科目〈シラバス〉について

この「2019 授業科目〈シラバス〉」は、平成 31 年度に美術工芸学部で開講される専門教育科目について、各担当教員から提出された授業計画（シラバス）をまとめたものです。履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、総合教育科目、共通教育科目及び教職に関する科目は別冊となっています。

1. 実技の授業科目は、その多くが複数の実習（課題）で構成されています。この場合、授業科目の頁のあとに実習（課題）ごとのシラバスが記載されていることがあります。
2. 今年度開講する科目のみを掲載しています。
3. 集中講義科目については、単位数・学期欄に（集中）と表記されています。
4. 担当教員名欄の（名）は名誉教授を、（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
5. ■履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、授業外の学習を含めて履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。
6. その他、本学の授業科目には科目名の末尾に番号等が付されているものがあります。これらは、科目開設の趣旨や性格、また分類上のルールがありますので、入学時に配布された履修案内等を確認してください。

平成31年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

対象専攻	科目区分	科目コード	授業科目名	単位数	受講年次	学期	授業区分	頁	
絵画	必修主要	21110	絵画基礎	5	1	前	実技	1	
		21112	日本画Ⅰ	6	1	後	実技	7	
		21113	箔	2	1	後	演習	12	
		21213	日本画Ⅱ－Ⅰ	6	2	前	実技	13	
		21214	日本画Ⅱ－Ⅱ	7	2	後	実技	15	
		21121	油画Ⅰ	7	1	後	実技	21	
		21223	油画Ⅱ－Ⅰ	6	2	前	実技	25	
		21224	油画Ⅱ－Ⅱ	7	2	後	実技	29	
		21231	絵画特論Ⅰ	2	1	通年	講義	42	
		21331	絵画特論Ⅱ	2	2	通年	講義	43	
		21291	古美術研究	4	2	後期	演習	44	
		必修専攻 専門関連	21132	彫刻(絵)	2	1	前	演習	45
			21133	デザイン(絵)	2	1	前	演習	46
			21209	工芸(絵)	2	2	前	演習	47
彫刻	必修主要	22110	デッサン	1	1	前	実技	48	
		22113	彫刻Ⅰ－Ⅰ	5	1	前	実技	49	
		22114	彫刻Ⅰ－Ⅱ	7	1	後	実技	53	
		22213	彫刻Ⅱ－Ⅰ	6	2	前	実技	56	
		22214	彫刻Ⅱ－Ⅱ	6	2	後	実技	59	
		22215	構成	1	2	後	実技	62	
		22231	彫刻特論Ⅰ	2	2	通年	講義	69	
	必修専攻 専門関連	22121	絵画(彫)	2	1	前	演習	72	
		22209	デザイン(彫)	2	2	前	演習	73	
		22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	75	
選択専攻 専門関連	22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	休講		
芸術学	必修主要	23110	素描(芸)	2	1	前	演習	76	
		23114	実技研究(絵画)	3	1	後	実技	78	
		23115	実技研究(表現)	2	1	後	実技	81	
		23113	基礎演習	2	1	後	演習	84	
		23217	学外研究	4	2	後	演習	85	
	必修専攻 専門関連	23151	絵画(芸)	2	1	前	演習	87	
		23152	彫刻(芸)	2	1	前	演習	88	
		23153	デザイン(芸)	2	1	前	演習	89	
		23154	工芸(芸)	2	1	前	演習	90	
	選択主要	23431	語学演習A(英語)	4	2～4	通年	演習	100	
		23432	語学演習B(独語)	4	2～4	通年	演習	102	
		23433	語学演習C(仏語)	4	2～4	通年	演習	103	
		23434	語学演習D(伊語)	4	2～4	通年	演習	104	
		23435	原典研究A(古文書)	4	2～4	通年	演習	105	
		23436	原典研究B(漢文)	4	2～4	通年	演習	休講	
		23437	原典研究C(ラテン語)	4	2～4	通年	演習	106	
		23438	美学特講	2	2～4	前	講義	107	
		23439	芸術学特講	2	2～4	後	講義	108	
		23440	東洋美術史特講	2	2～4	前	講義	109	
選択専攻 専門関連	23228	日本美術史特講	2	2～4	後	講義	110		
	23441	西洋美術史特講	2	2～4	前	講義	111		
	23227	比較芸術学特講	2	2～4	後	講義	112		
	23330	絵画演習A	2	2～3	前	演習	281		
23331	絵画演習B	2	2～3	後	演習	282			
選択専攻 専門関連	23261	彫刻演習A	2	2～3	前	演習	284		
	23262	彫刻演習B	2	2～3	後	演習	285		
	23334	デザイン演習A	2	2～3	前	演習	287		
	23335	デザイン演習B	2	2～3	後	演習	288		
	23336	工芸演習A	2	2～3	前	演習	290		
	23337	工芸演習B	2	2～3	後	演習	291		

平成31年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁	
デザイン	必修主要	24112	デザインⅠ	3	1	前	実技	113	
		24113	木工芸基礎	2	1	後	演習	116	
		24114	立体造形(デ)	2	1	後	演習	117	
		24115	素描(デ)	1	1	後	実技	118	
		24116	色彩構成	2	1	後	演習	119	
		24117	空間構成	2	1	後	演習	120	
		24223	デザインⅡ-I	7	2	前	実技	121	
		24224	デザインⅡ-II	7	2	後	実技	127	
	必修専攻 専門関連	24121	絵画(デ)	2	1	前	演習	147	
		24123	彫刻(デ)	2	1	前	演習	148	
		24124	工芸(デ)	2	1	前	演習	149	
	選択専攻 専門関連	24132	西洋建築史	2	1~4	前	講義	308	
		24133	日本建築史	2	1~4	後	講義	309	
		24153	クラフトデザイン計画	2	1~4	後	講義	310	
		24161	プロダクトデザイン論	2	1~4	後	講義	311	
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1~4	前	講義	312	
		24171	視覚伝達論A	2	1~4	前	演習	313	
		24172	視覚伝達論B	2	1~4	後	演習	314	
		24181	環境造形論	2	1~4	前	講義	315	
		24184	人間工学	2	1~4	後	講義	327	
		24251	図学	2	1~4	前	演習	316	
	工芸	必修主要	25112	描写	1	1	前	実技	150
			25113	色彩	1	1	前	実技	151
			25114	立体構成	1	1	前	実技	152
25101			工芸Ⅰ	7	1	後	実技	153	
25209			工芸Ⅱ	5	2	前	実技	158	
25261			立体造形(工)	1	2	前	実技	164	
25262			版画	1	2	前	実技	165	
25221			染Ⅰ	7	2	後	実技	167	
25231			織Ⅰ	7	2	後	実技	185	
25232			繊維科学	2	2	後	講義	206	
25222			染色化学	2	2	後	講義	207	
25211			陶芸Ⅰ	7	2	後	実技	209	
25212			窯業化学	2	2	後	講義	226	
25241			漆芸Ⅰ	7	2	後	実技	228	
25242		漆芸科学	2	2	後	講義	249		
必修専攻 専門関連		25102	絵画(工)	2	1	前	演習	251	
		25103	彫刻(工)	2	1	前	演習	252	
		25104	デザイン(工)	2	1	前	演習	253	
選択専攻 専門関連		25131	陶磁史	2	1~4	前	講義	318	
		25132	染織工芸史	2	1~4	前	講義	319	
	25151	生活造形論	2	1~4	後	講義	320		
	25152	装飾論	2	1~4	後	講義	321		
	25171	漆芸論	2	1~4	後	講義	322		
25177	色彩論	2	1~4	前	講義	326			

平成31年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
全専攻対象 (一部専攻除く科目あり)	選択共通 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	75
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	休講
		22202	金属演習	2	2～4	後	演習	292
		23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	293
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	294
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	休講
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	295
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	296
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	297
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	298
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	299
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	300
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	301
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	302
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	303
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	304
		23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	305
		24132	西洋建築史	2	1～4	前	講義	308
		24133	日本建築史	2	1～4	後	講義	309
		24153	クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	310
		24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	311
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	312
		24163	図法及び製図A	2	1～4	前	演習	330
		24164	図法及び製図B	2	1～4	後	演習	331
		24171	視覚伝達論A	2	1～4	前	演習	313
		24172	視覚伝達論B	2	1～4	後	演習	314
		24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	315
		24184	人間工学	2	1～4	後	講義	327
		24251	図学	2	1～4	前	演習	316
		24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	317
		25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	318
		25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	319
25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	320		
25152	装飾論	2	1～4	後	講義	321		
25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	322		
25177	色彩論	2	1～4	前	講義	326		
自由科目		21202	写真演習	2	1～4	後	演習	335
		24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	336

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧 (平成 29 年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁		
絵 画	必修主要	21311	日本画Ⅲ	14	3	通年	実技	18		
		21321	油画Ⅲ	14	3	通年	実技	32		
		21331	絵画特論Ⅱ	2	2	通年	講義	43		
		21291	古美術研究	4	2	後	演習	44		
	選択専攻 専門関連	21431	西洋建築史概説A	2	1～4	前	講義	255		
		21432	日本建築史概説A	2	1～4	後	講義	256		
		21433	ビジュアルデザイン概論	2	1～4	前	講義	257		
		21434	視覚伝達概論A	2	1～4	前	演習	258		
		21435	視覚伝達概論B	2	1～4	後	演習	259		
		21436	陶磁史概説A	2	1～4	前	講義	260		
		21437	染織工芸史概説A	2	1～4	前	講義	261		
		21438	生活造形概論A	2	1～4	後	講義	262		
		21439	装飾概論A	2	1～4	後	講義	263		
		21440	漆芸概論A	2	1～4	後	講義	264		
		彫 刻	必修主要	22112	彫刻ⅠB	7	1	後	実技	—
				22212	彫刻Ⅱ	13	2	通年	実技	—
				22312	彫刻Ⅲ	13	3	通年	実技	63
				22231	彫刻特論Ⅰ	2	2	通年	講義	69
				22331	彫刻特論Ⅱ	2	3	通年	講義	70
				22291	古美術研究	4	2	後	演習	71
専攻専門 関連	22207		デザインB	2	2	前	演習	—		
	22208		工芸B	2	3	前	演習	74		
選択専攻 専門関連	22132		美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	75		
	22133		美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	休講		
	22421		西洋建築史概説B	2	1～4	前	講義	265		
	22422		日本建築史概説B	2	1～4	後	講義	266		
	22423		クラフトデザイン計画概論	2	1～4	後	講義	267		
	22424		プロダクトデザイン概論	2	1～4	後	講義	268		
	22425		環境造形概論	2	1～4	前	講義	269		
	22426		陶磁史概説B	2	1～4	前	講義	270		
	22427		染織工芸史概説B	2	1～4	前	講義	271		
	22428		生活造形概論B	2	1～4	後	講義	272		
	22429		装飾概論B	2	1～4	後	講義	273		
	22430		漆芸概論B	2	1～4	後	講義	274		
芸 術 学	必修主要	23112	実技研究	5	1	後	実技	77		
		23113	基礎演習	2	1	後	演習	84		
		23217	学外研究	4	2	後	演習	85		
	選択主要	23421	美学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	91		
		23422	美学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	91		
		23423	芸術学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	92		
		23424	芸術学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	93		
		23425	日本美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	94		
		23426	日本美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	95		
		23427	東洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	96		
		23428	東洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	96		
		23429	西洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	97		
		23430	西洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	97		
		23442	芸術文化論演習	4	3～4	通年	演習	98		
		23431	語学演習A(英語)	4	2～4	通年	演習	100		
		23432	語学演習B(独語)	4	2～4	通年	演習	102		
		23433	語学演習C(仏語)	4	2～4	通年	演習	103		
		23434	語学演習D(伊語)	4	2～4	通年	演習	104		
		23435	原典研究A(古文書)	4	2～4	通年	演習	105		
		23436	原典研究B(漢文)	4	2～4	通年	演習	休講		
23437	原典研究C(ラテン語)	4	2～4	通年	演習	106				
23438	美学特講	2	2～4	前	講義	107				
23439	芸術学特講	2	2～4	後	講義	108				

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧 (平成 29 年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁		
芸術学	選択主要	23440	東洋美術史特講	2	2～4	前	講義	109		
		23228	日本美術史特講	2	2～4	後	講義	110		
		23441	西洋美術史特講	2	2～4	後	講義	111		
		23227	比較芸術学特講	2	2～4	後	講義	112		
	選択専攻 専門関連	23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	293		
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	294		
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	休講		
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	295		
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	296		
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	297		
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	298		
		23142	現代芸術論 A	2	1～4	後	講義	299		
		23143	現代芸術論 B	2	1～4	前	講義	300		
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	301		
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	302		
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	303		
		23148	西洋美術史 A	2	1～4	前	講義	304		
		23149	西洋美術史 B	2	1～4	後	講義	305		
		23320	絵画演習	4	2～3	通年	演習	274		
		23321	彫刻演習	4	2～3	通年	演習	277		
		23322	デザイン演習	4	2～3	通年	演習	286		
		23323	工芸演習	4	2～3	通年	演習	289		
		23443	陶磁史概説 C	2	1～4	前	講義	275		
		23444	染織工芸史概説 C	2	1～4	前	講義	276		
		23445	生活造形概論 C	2	1～4	後	講義	277		
		23446	装飾概論 C	2	1～4	後	講義	278		
		23447	漆芸概論 C	2	1～4	後	講義	279		
		デザイン	必修主要	24341	デザインⅢ A	7	3	前	実技	133
				24342	デザインⅢ B	7	3	後	実技	139
				24331	デザイン特別演習	2	3	後	演習	145
				24391	学外研究	4	3	後	演習	146
			選択専攻 専門関連	24132	西洋建築史	2	1～4	前	講義	308
24133	日本建築史			2	1～4	後	講義	309		
24153	クラフトデザイン計画			2	1～4	後	講義	310		
24161	プロダクトデザイン論			2	1～4	後	講義	311		
24162	ビジュアルデザイン論			2	1～4	前	講義	312		
24171	視覚伝達論 A			2	1～4	前	演習	313		
24172	視覚伝達論 B			2	1～4	後	演習	314		
24181	環境造形論			2	1～4	後	講義	325		
24182	色彩論			2	1～4	前	講義	326		
24184	人間工学			2	1～4	後	講義	327		
24251	図学			2	1～4	前	演習	316		
24252	CG基礎			2	2～4	後	演習	317		
選択共通 専門関連	25131			陶磁史	2	1～4	前	講義	318	
	25132			染織工芸史	2	1～4	前	講義	319	
	25151			生活造形論	2	1～4	後	講義	320	
	25152			装飾論	2	1～4	後	講義	321	
	25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	322			

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧 (平成 29 年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁	
工芸	必修主要	25321	染Ⅱ	14	3	通年	実技	173	
		25331	織Ⅱ	14	3	通年	実技	190	
		25322	染織特別演習	2	3	後	演習	208	
		25311	陶芸Ⅱ	14	3	通年	実技	214	
		25312	陶芸特別演習	2	3	通年	演習	227	
		25341	漆芸Ⅱ	14	3	通年	実技	235	
		25342	漆芸特別演習	2	3	前	演習	250	
	選択専攻 専門関連	25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	318	
		25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	319	
		25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	320	
		25152	装飾論	2	1～4	後	講義	321	
		25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	328	
		25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	322	
		25172	絵画史概説	2	1～4	後	講義	323	
		25173	彫刻史概説	2	1～4	前	講義	休講	
		25174	現代芸術概論A	2	1～4	後	講義	324	
		25175	現代芸術概論B	2	1～4	前	講義	325	
	25176	沖縄美術工芸史概説	2	1～2	後	講義	休講		
	全専攻対象 (一部専攻除く科目あり)	選択共通 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	75
			22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	休講
			22202	金属演習	2	2～4	後	演習	292
			23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	293
			23126	芸術学	2	1～4	前	講義	294
			23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	休講
			23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	295
23137			工芸史	2	1～4	前	講義	296	
23138			絵画史	2	1～4	後	講義	297	
23141			書道史	2	1～4	前	講義	298	
23142			現代芸術論A	2	1～4	後	講義	299	
23143			現代芸術論B	2	1～4	前	講義	300	
23145			一般芸術学	2	1～4	前	講義	301	
23146			日本美術史	2	1～4	前	講義	302	
23147			東洋美術史	2	1～4	後	講義	303	
23148			西洋美術史A	2	1～4	前	講義	304	
23149			西洋美術史B	2	1～4	後	講義	305	
24132			西洋建築史	2	1～4	後	講義	308	
24133			日本建築史	2	1～4	後	講義	309	
24153			クラフトデザイン計画	2	1～4	前	講義	310	
24161			プロダクトデザイン論	2	1～4	前	演習	311	
24162			ビジュアルデザイン論	2	1～4	後	演習	312	
24171			視覚伝達論A	2	1～4	前	講義	313	
24172			視覚伝達論B	2	1～4	前	講義	314	
24181			環境造形論	2	1～4	後	講義	315	
24182			色彩論	2	1～4	前	演習	326	
24184			人間工学	2	2～4	後	演習	327	
24251			図学	4	1～4	通年	演習	316	
24252			CG基礎	2	1～4	後	演習	317	
25162			図法及び製図	2	2～4	後	演習	328	
自由科目	21202	写真演習	2	1～4	後	演習	335		
	24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	336		

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧 (平成 28 年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
絵画	必修主要	21311	日本画Ⅲ	14	3	通年	実技	18
		21411	日本画Ⅳ	15	4	通年	実技	20
		21321	油画Ⅲ	14	3	通年	実技	32
		21421	油画Ⅳ	15	4	通年	実技	39
	選択専攻 専門関連	21431	西洋建築史概説A	2	1～4	前	講義	256
		21432	日本建築史概説A	2	1～4	後	講義	256
		21433	ビジュアルデザイン概論	2	1～4	前	講義	257
		21434	視覚伝達概論A	2	1～4	前	演習	258
		21435	視覚伝達概論B	2	1～4	後	演習	259
		21436	陶磁史概説A	2	1～4	前(集中)	講義	260
		21437	染織工芸史概説A	2	1～4	前	講義	261
		21438	生活造形概論A	2	1～4	後	講義	262
		21439	装飾概論A	2	1～4	後(集中)	講義	263
		21440	漆芸概論A	2	1～4	後	講義	264
彫刻	必修主要	22311	彫刻Ⅲ	14	3	通年	実技	63
		22411	彫刻Ⅳ	15	4	通年	実技	68
		22331	彫刻特論Ⅱ	2	3	通年	講義	70
	選択専攻 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	75
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	休講
		22421	西洋建築史概説B	2	1～4	前	講義	265
		22422	日本建築史概説B	2	1～4	後	講義	266
		22423	クラフトデザイン計画概論	2	1～4	後(集中)	講義	267
		22424	プロダクトデザイン概論	2	1～4	後	講義	268
		22425	環境造形概論	2	1～4	前	講義	269
		22426	陶磁史概説B	2	1～4	前(集中)	講義	270
		22427	染織工芸史概説B	2	1～4	前	講義	271
		22428	生活造形概論B	2	1～4	後	講義	272
		22429	装飾概論B	2	1～4	後(集中)	講義	273
22430	漆芸概論B	2	1～4	後	講義	274		
芸術学	必修主要	23411	卒業論文	5	4	通年	演習	86
	選択主要	23421	美学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	91
		23422	美学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	91
		23423	芸術学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	92
		23424	芸術学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	93
		23425	日本美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	94
		23426	日本美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	95
		23427	東洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	96
		23428	東洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	96
		23429	西洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	97
		23430	西洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	97
		23442	芸術文化論演習	4	3～4	通年	演習	98
		23431	語学演習A(英語)	4	2～4	通年	演習	100
		23432	語学演習B(独語)	4	2～4	通年	演習	102
		23433	語学演習C(仏語)	4	2～4	通年	演習	103
		23434	語学演習D(伊語)	4	2～4	通年	演習	104
		23435	原典研究A(古文書)	4	2～4	通年	演習	105
		23436	原典研究B(漢文)	4	2～4	通年	演習	休講
		23437	原典研究C(ラテン語)	4	2～4	通年	演習	106
		23438	美学特講	2	2～4	通年	講義	107
		23439	芸術学特講	2	2～4	通年	講義	108
	23440	東洋美術史特講	2	2～4	通年	講義	109	
	23228	日本美術史特講	2	2～4	通年	講義	110	
	23441	西洋美術史特講	2	2～4	通年	講義	111	
	23227	比較芸術学特講	2	2～4	通年	講義	112	
	選択専攻 専門関連	23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	293
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	294
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	休講
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	295
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	296
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	297

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧 (平成 28 年度入学生用)

対象専攻	科目区分	科目コード	授業科目名	単位数	受講年次	学期	授業区分	頁
芸術学	選択専攻 専門関連	23141	書道史	2	1～4	前	講義	298
		23142	現代芸術論 A	2	1～4	後	講義	299
		23143	現代芸術論 B	2	1～4	前	講義	300
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	301
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	302
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	303
		23148	西洋美術史 A	2	1～4	前	講義	304
		23149	西洋美術史 B	2	1～4	後	講義	305
		23320	絵画演習	4	2～3	通年	演習	274
		23321	彫刻演習	4	2～3	通年	演習	283
		23322	デザイン演習	4	2～3	通年	演習	286
		23323	工芸演習	4	2～3	通年	演習	289
		23443	陶磁史概説 C	2	1～4	前	講義	275
		23444	染織工芸史概説 C	2	1～4	前	講義	276
		23445	生活造形概論 C	2	1～4	後	講義	277
		23446	装飾概論 C	2	1～4	後(集中)	講義	278
		23447	漆芸概論 C	2	1～4	後	講義	279
23442	芸術文化論演習	4	3～4	通年	演習	98		
デザイン	必修主要	24341	デザインⅢ A	7	3	前	実技	133
		24342	デザインⅢ B	7	3	後	実技	139
		24431	デザインⅣ	15	4	通年	実技	144
		24331	デザイン特別演習	2	3	後	演習	145
		24391	学外研究	4	3	後	演習	146
	選択専攻 専門関連	24131	建築史	4	1～4	通年	講義	306
		24153	クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	310
		24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	311
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	312
		24171	視覚伝達論 A	2	1～4	前	演習	313
		24172	視覚伝達論 B	2	1～4	後	演習	314
		24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	315
		24182	色彩論	2	1～4	前	講義	326
		24184	人間工学	2	1～4	後	講義	327
		24251	図学	2	1～4	前	演習	316
		24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	317
		選択共通 専門関連	25131	陶磁史	2	1～4	前	講義
25132	染織工芸史		2	1～4	前	講義	319	
25151	生活造形論		2	1～4	後	講義	320	
25152	装飾論		2	1～4	後	講義	321	
25171	漆芸論		2	1～4	後	講義	322	
工芸	必修主要	25433	染Ⅲ	15	4	通年	実技	182
		25331	織Ⅱ	14	3	通年	実技	190
		25434	織Ⅲ	15	4	通年	実技	202
		25222	染色化学	2	2	後	講義	207
		25322	染織特別演習	2	3	前	演習	208
		25411	陶芸Ⅲ	15	4	通年	実技	223
		25341	漆芸Ⅱ	14	3	通年	実技	235
		25442	漆芸Ⅲ	15	4	通年	実技	246
		25242	漆芸科学	2	2	後	講義	249
		25342	漆芸特別演習	2	3	前	演習	250
	25391	古美術研究	4	3	後	演習	166	
	選択専攻 専門関連	25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	318
		25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	319
		25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	320
		25152	装飾論	2	1～4	後	講義	321
		25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	328
		25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	322
25172		絵画史概説	2	1～4	通年	講義	323	
25173	彫刻史概説	2	1～4	前	講義	休講		
25174	現代芸術概論 A	2	1～4	後	講義	324		
25175	現代芸術概論 B	2	1～4	前	講義	325		

平成 31 年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧 (平成 28 年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
全専攻対象 (一部専攻除く科目あり)	選択共通 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	75
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	休講
		22202	金属演習	2	2～4	後	演習	292
		23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	293
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	294
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	休講
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	295
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	296
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	297
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	298
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	299
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	300
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	301
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	302
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	303
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	304
		23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	305
		24131	建築史	4	1～4	通年	講義	306
		24153	クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	310
		24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	311
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	312
		24171	視覚伝達論A	2	1～4	前	演習	313
		24172	視覚伝達論B	2	1～4	後	演習	314
		24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	315
		24182	色彩論	2	1～4	前	講義	326
24184	人間工学	2	1～4	後	講義	327		
24251	図学	2	1～4	前	演習	316		
24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	317		
25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	328		
自由科目	デザイン	24203	絵画C	3	2～4	通年	演習	334
		24204	彫刻C	4	2～4	前	演習	334
		24205	工芸D	4	2～4	通年	演習	334
	彫刻	22203	絵画A	3	2～4	通年	演習	334
		22204	デザインB	3	1～4	通年	演習	334
		22205	工芸B	4	2～4	通年	演習	334
	工芸	25203	絵画D	3	2～4	通年	演習	334
		25204	彫刻D	4	2～4	前	演習	334
		25205	デザインD	3	1～4	通年	演習	334
	芸術学	23101	絵画B	3	2～4	通年	演習	334
		23102	彫刻B	4	2～4	前	演習	334
		23103	デザインC	3	1～4	通年	演習	334
		23104	工芸C	4	2～4	通年	演習	334
	絵画	21203	彫刻A	4	2～4	前	演習	334
		21204	デザインA	3	1～4	通年	演習	334
21205		工芸A	4	2～4	通年	演習	334	
自由科目		21202	写真演習	2	1～4	後	演習	335
		24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	336

平成31年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成27年度以前入学生用)

対象専攻	科目区分	科目コード	授業科目名	単位数	受講年次	学期	授業区分	頁
絵画	必修主要	21411	日本画Ⅳ	15	4	通年	実技	20
		21421	油画Ⅳ	15	4	通年	実技	39
彫刻	必修主要	22311	彫刻Ⅲ	14	3	通年	実技	63
		22411	彫刻Ⅳ	15	4	通年	実技	68
芸術学	必修主要	23228	日本美術史特講	2	2～4	前	講義	111
		23411	卒業論文	5	4	前年	演習	86
		23421	美学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	91
		23422	美学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	91
		23424	芸術学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	93
		23425	日本美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	94
		23426	日本美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	95
		23428	東洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	96
		23430	西洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	97
		23432	語学演習B(独語)	4	2～4	通年	演習	102
		23434	語学演習D(伊語)	4	2～4	通年	演習	104
		23435	原典研究A(古文書)	4	2～4	通年	演習	105
		23437	原典研究C(ラテン語)	4	2～4	通年	演習	106
		23438	美学特講	2	2～4	前	講義	107
	選択 専門関連	23320	絵画演習	4	2～3	通年	演習	280
		23321	彫刻演習	4	2～3	通年	演習	283
		23322	デザイン演習	4	2～3	通年	演習	286
	デザイン	必修主要	24331	デザイン特別演習	2	3	後	演習
24341			デザインⅢA	7	3	前	実技	133
24342			デザインⅢB	7	3	後	実技	139
24391			学外研究	4	3	後	演習	146
24431			デザインⅣ	15	4	通年	実技	144
工芸	必修主要	25321	染Ⅱ	14	3	通年	実技	173
		25421	染Ⅲ	15	4	通年	実技	182
		25331	織Ⅱ	14	3	通年	実技	190
		25431	織Ⅲ	15	4	通年	実技	202
		25232	繊維科学	2	2	後	講義	206
		25242	漆芸科学	2	2	後	講義	249
		25311	陶芸Ⅱ	14	3	通年	実技	214
		25411	陶芸Ⅲ	15	4	通年	実技	223
		25312	陶芸特別演習	2	3	通年	演習	227
		25341	漆芸Ⅱ	14	3	通年	実技	235
		25441	漆芸Ⅲ	15	4	通年	実技	246
		25322	染織特別演習	2	3	前	演習	208
25391	古美術研究	4	3	後	演習	166		
全専攻共通	選択 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	75
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	休講
		22202	金属演習	2	2～4	後	演習	292
		23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	293
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	294
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	295
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	296
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	297
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	298
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	299
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	300
		24131	建築史	4	1～4	通年	講義	306
		24153	クラフトデザイン計画	2	2～4	後	講義	310
		24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	311
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	312
		24171	視覚伝達論A	2	1～4	前	演習	313
		24172	視覚伝達論B	2	1～4	後	演習	314
		24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	315
		24182	色彩論	2	1～4	後	講義	326
		24184	人間工学	2	1～4	後	講義	327

平成31年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成27年度以前入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
全専攻 共通	選択 専門関連	24251	図学	2	1～4	前	演習	316
		24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	317
		25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	318
		25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	319
		25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	320
		25152	装飾論	2	1～4	後	講義	321
		25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	328
		25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	322
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	301
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	302
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	303
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	304
23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	305		
自由科目		21201	絵画	3	2～4	通年	演習	333
		22201	彫刻	4	2～4	前	演習	333
		24201	デザイン	3	1～4	通年	演習	333
		25201	工芸	4	2～4	通年	演習	333
		21202	写真演習	2	1～4	後	演習	335
		24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	336

実務経験のある教員による授業科目（実践的教育を行う授業）

対象専攻等	区分	授業科目名	単位数	授業区分	教員名	職	担当形態	実務経験等	掲載頁		
学部	選択科目 共通専門 関連科目	ビジュアルデザイン概論 ビジュアルデザイン論	2	講義	笹原浩造	准教授	単独	アートディレクター、化粧品会社宣 伝部勤務（1986～2010年）	257 312		
		視覚伝達概論A 視覚伝達論A（印刷）	2	演習	赤嶺雅	教授	単独	グラフィックデザイナー、民間企業 （情報通信機械器具製造業、印刷業） デザイン室勤務（1986～1992年）	258 313		
		視覚伝達概論B 視覚伝達論B（映像）	2	演習	仲本賢	教授	単独	映像作家	259 314		
		環境造形概論 環境造形論	2	講義	宮里武志	准教授	単独	設計事務所主宰、建築設計事務所等 勤務（1994～2002年）	269 315		
		日本美術史	2	講義	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員（1989～1994年）	302		
		西洋美術史B	2	講義	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	305		
		CG基礎	2	演習	真喜志康一	非常勤講師	単独	デザイン事務所経営	317		
絵画専攻	必修科目 主要科目	日本画Ⅳ	15	実技	平山英樹	教授	複数	日本画家	20		
					香川亮	准教授		画家			
					関谷理	講師		日本画家			
		油画Ⅳ	15	実技	田中睦治	教授	複数	美術家	39～41		
知花均	教授	版画家									
高崎賀朗	准教授	画家									
彫刻専攻	必修科目 主要科目	彫刻Ⅳ	15	実技	波多野泉	教授	複数	彫刻家	68		
					砂川泰彦	教授		彫刻家			
					河原圭佑	講師		彫刻家			
					長尾恵那	講師		彫刻家			
		彫刻特論Ⅱ	2	講義	波多野泉	教授	オムニバス	彫刻家	70		
					砂川泰彦	教授		彫刻家			
河原圭佑	講師	彫刻家									
長尾恵那	講師	彫刻家									
芸術学専攻	選択科目 主要科目	芸術学演習Ⅰ	4	演習	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	92		
		芸術学演習Ⅱ	4	演習	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	93		
		日本美術史演習Ⅰ	4	演習	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員（1989～1994年）	94		
		日本美術史演習Ⅱ	4	演習	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員（1989～1994年）	95		
		芸術学特講	2	講義	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	108		
		日本美術史特講	2	講義	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員（1989～1994年）	110		
デザイン専攻	必修科目 主要科目	デザインⅢA	7	実技	笹原浩造	准教授	複数	アートディレクター、化粧品会社宣 伝部勤務（1986～2010年）	133 134		
					高田浩樹	准教授		単独		デザイン事務所主宰	133 135
					又吉浩	准教授	単独	アニメーション作家	133 136		
					宮里武志	准教授	単独	設計事務所主宰、建築設計事務所等 勤務（1994～2002年）	133 137		
					座波嘉克	教授	複数	プロダクトデザイナー	133 138		
					(インターンシップ)	複数		インターンシップA・B	133		
					デザインⅢB	7	実技	又吉浩	准教授	単独	アニメーション作家
		高田浩樹	准教授	単独				デザイン事務所主宰	133 141		
		仲本賢	教授	複数				映像作家	139 142		
		又吉浩	准教授					映像作家			
		赤嶺雅	教授	複数				グラフィックデザイナー、民間企業 （情報通信機械器具製造業、印刷業） デザイン室勤務（1986～1992年）	139 143		
		(インターンシップ)	複数					インターンシップC・D		139	
		工芸専攻	必修科目 主要科目	染Ⅲ				15	実技	渡名喜はるみ	教授
					名護朝和	教授	染色家				
織Ⅲ	15			実技	真栄城興茂	教授	複数	染織家、織工房主宰	202 205		
					花城美弥子	准教授		染織家			
陶芸Ⅲ	15			実技	山田聡	教授	複数	陶芸家	223		
					島袋克史	講師		陶芸家			
漆芸Ⅲ	15			実技	糸数政次	教授	複数	漆芸家、県工芸振興センター勤務 （1990～2013年）	246～248		
					水上修	教授		漆芸家			
		當眞茂	准教授		漆芸家						

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25221	染 I	7 単位 後期	2	実技	渡名喜はるみ 名護朝和 非常勤講師

■テーマ 紅型制作と、基礎となる表現技法、染色法の習得。

■授業の概要

染 I では染色についての一般的、包括的な工芸表現と技法の習得を目指します。はじめに染色実験で染色理論等の知識を深め、板締めによる浸染法など基礎的な実習を行います。また、沖縄の伝統技法である紅型を、古典模写の制作を通して伝統的な技法の習得と顔料染色の基礎を学び、シルクスクリーン表現によるプロダクト生産や量産性について理解を深めます。

■到達目標

- ・ 基本的な染色技法と制作表現に必要な創造力を養う。
- ・ 紅型の伝統技法を習得し、琉球王国の歴史的な背景を理解することができる。
- ・ 版表現による量産性を学び、多様な模様表現を試みる。

■授業計画・方法

1. 課題説明 染色用具、染色理論（染色表現における素材）について解説
2. 染色法（染料、顔料） 染色実験ファイル制作
3. 防染法、浸染法の概説 絞り（縫い絞り、板締め絞り、他の技法による絞り）
4. 板締め技法を用いた制作
5. 伝統工芸技法（紅型）の解説 筒図案模写 筒引き道具の製作
6. ウチクイ技法の解説と制作
7. 紅型作品の鑑賞
8. 紅型模写 型彫り道具の製作 図案作成
9. 型彫りについての解説（シーグ、ルクジュー）
10. 突き彫りの技法を用いて型彫り 紗張りの解説（仮張り、本張り）
11. 顔料染色の解説と染色
12. 型紙研究 パターン表現の解説と図案作り
13. 型表現（シルクスクリーン製版）と量産性について
14. スクリーン製版による捺染 プリント作業 捺染布の完成
15. 作品展示 講評会
定期試験は行わない

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

特殊な道具や材料等を使うため、基本的な取扱いを守り、安全に使用する。
博物館や美術館に収蔵・展示されている紅型を鑑賞し、その特徴を理解する。
地域の伝統工芸について調べ、その技法をもとに作品制作を試みる。
各実習時の終了時に作品・レポートを提出し、自己評価を含め講評を行う。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（授業への参加状況 30%）、課題作品やレポートの提出（70%）で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

- 教科書 特になし
- テキスト 必要に応じて指示する
- 参考資料 各課題内で、関係資料の配付、DVD 鑑賞等を行う
- 参考文献 各課題内で、参考文献を提示する

- 【実習名】 染色実験
 【期間】 10月1日(火)～10月18日(金) 14日間
 【教室】 染織講義室、染工房Ⅱ、共通染場
 【担当】 渡名喜 はるみ
 【課題】 天然染料、化学染料のデーター染色を行いファイル作成する。

【授業概要】 (テーマ)

染めの基本的材料である綿・麻・絹の糊抜き精練を体験し、染色に適した基布の状態を確認する。それぞれの実験内容でグループに分かれ、化学染料の基本色の濃度表・混色表を作成。基本色の8～10色で数多くのカラーアソートの可能性を染色実験で確認する。

【到達目標】

- ・糊防染に適した染色方法を習得する。
- ・化学染料、顔料、天然染料の特性を理解した上で、それぞれの染着の工程の違いを学ぶ。
- ・染める布の性質で、染料と助材の組み合わせの違いが有る事を習得し、安全で合理的な方法を学ぶ。
- ・染色実験ファイルを作る事で、今後の自己作品の制作に必要な材料・道具の知識を得る。

【授業計画・方法】

- 1 ガイダンス。
- 2 染色全般、染色試験布のレクチャー
- 3 麻の糊抜き・精練・漂白。木綿の糊抜き・精練・漂白
- 4 直接染料による木綿の染色(引染)
- 5 反応性染料による木綿の染色(引染)
- 6 酸性染料による絹の染色(引染)
- 7 顔料作り(古典紅型で使用) 反応性染料の定着、水元
- 8 インディゴピュアー(合成藍)の原液(ストックバット液) 創り
- 9 インディゴピュアー染浴作り
- 10 藍の濃度違いの染色実験
- 11 花蕾(えんじゅ)、福木、コチニール、臘脂 の抽出
- 12 花蕾、福木による絹・麻・綿の染色、媒染
- 13 コチニール、臘脂による絹・麻・綿の染色、媒染
- 14 実験布の整理・ファイルの作成準備
- 15 実験総括。ファイル作成。

【成果物】

- ・染色実験ファイル

【評価の方法・基準】

□方法 提出物のファイル70%・平常点30%

□基準

安全に留意して染色実験の準備・作業に積極的に参加し、グループでの役割分担を行えたか。
 染料の種類、染め基布とのマッチングを理解し、工程の違いを把握出来たか。
 混色濃度の比率を理解し、実験布の整理、ファイリングが適切にできたか。

【テキスト・参考文献(資料)等】

- 教科書 特になし
- テキスト 授業開始時にプリントを配布。
- 参考文献 染色の基礎知識『合成染料の技法』高橋誠一郎著 染織と生活者
 那覇市歴史博物館紀要 第一号 那覇市歴史博物館(2009・3)
- 参考資料 染分野作成ファイル、染色見本布

【実習名】 古典紅型（筒引）

【期 間】 10月21日（月）～11月22日（金） 21日間

【教 室】 染工房2A、共通染場

【担 当】 城間 弘子(非)

【課 題】 古典紅型（筒描き）模写制作および、紅型道具、紅型布見本の作成。

【授業概要】（テーマ）

紅型の筒引き技法は、舞台幕やウチクイ（風呂敷）などで用いられていた。本授業では、片面ウチクイ（綿布）、両面ウチクイ（麻地）の制作工程を通して、古典模様の解明、伝統技法の修得をめざす。併せて、筒や筆等の道具作り、紅型色見本の作成を行う。

【到達目標】

- ・ 筒引きにおける素材、技法、工程を理解し模写制作することができる。
- ・ 紅型色見本の制作や道具作りで、顔料染色の特性、道具の扱いについて理解する。
- ・ 伝統技法を修得し、古典文様や技法について理解を深める。

【授業計画】

- 1 課題説明・筒図案について
- 2 筒図案模写 糊筒、刷毛の作り方
- 3 片面ウチクイ技法解説（綿布の特性と染色法について） 筒引き・地入れ
- 4 片面ウチクイ 直接染料による地染め・蒸し水元
- 5 両面ウチクイ技法の解説（麻布の特性 両面筒引き 顔料染色について）
- 6 両面ウチクイ 色差し 顔料染色による色見本作成
- 7 両面ウチクイ 色差し（配色 二度刷り）
- 8 両面ウチクイ 色差し（限取り）
- 9 両面ウチクイ 糊伏せ（表面） 顔料染色 色見本布の完成 筒蒸し定着
- 10 両面ウチクイ 糊伏せ（裏面）
- 11 両面ウチクイ 藍染め（酸化 淡色）
- 12 両面ウチクイ 藍染め（酸化 濃色）
- 13 紅型作品鑑賞
- 14 両面ウチクイ 水元
- 15 作品展示 清掃 講評会

【成 果】 筒引き引染め（綿布）、両面紅型ウチクイ（麻布）、色見本及び資料作成、レポート

【評価の方法・基準】

□方法 作品提出(70%)、平常点(20%)、講評会での発言及びレポート(10%)で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献（資料）等】

- 参考文献 ワイド判染織の美 琉球紅型（京都書院）
沖縄紅型 城間栄喜作品集（京都書院）

- 【実習名】** 防染法
【期間】 11月25日(月)～11月29日(金) 5日間
【教室】 染工房2 染場
【担当】 石塚 広 (非)
【課題】 板締め技法を用いて使い手ぬぐいを制作する。

【授業概要】(テーマ)

板締めは古代の代表的な染色技法の一つであり、藍染で作品を制作する。藍染は最も基本的な染色技法である浸染で行われる。

【到達目標】

- ・ 藍染の作品制作をとおして染料、被染物、防染技法の関連性を学び、用いた材料や技法の特性を活かしたデザインができる。

【授業計画】

- 1 課題説明、染料、被染物、防染技法の概説
- 2 藍、浸染法の概説
- 3 技法(板締め、板締め絞り)の概説
- 4 板締め絞りで藍染実習
- 5 板締めを用いて手ぬぐいの制作デザイン 前期
- 6 板締めを用いて手ぬぐいの制作デザイン 後期
- 7 板締め版木制作 前期
- 8 板締め版木制作 後期
- 9 版木を使つてのサンプル染め 前期
- 10 版木の修正
- 11 版木を使つてのサンプル染め 後期
- 12 板締めを用いた手ぬぐい制作 前期
- 13 板締めを用いた手ぬぐい制作 中期
- 14 板締めを用いた手ぬぐい制作 後期
- 15 合評会

【成果】 板締め技法等を用いた藍染手ぬぐい

【評価の方法・基準】

方法 作品(成果物 50%)、平常点(50%)で総合的に評価する

基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献(資料)等】

- 「正倉院裂と飛鳥天平の染織」松本包夫著 紫紅社
「よみがえる幻の染色」島根県立古代歴史博物館

- 【実習名】 古典紅型（型）
 【期間】 12月2日（月）～1月17日（金） 24日間
 【教室】 染色講義室、染工房2A、共通染場
 【担当】 渡名喜はるみ 名護朝和
 【課題】 古典紅型（型）の模写端尺の作成・道具作り・紅型色見本

【授業概要】（テーマ）

古典紅型の筒描技法と同様、模写に必要な道具も授業の中で作る。資料から各自で選んだ紅型小紋を模写し型彫り用のST型紙に写し取り紅型独特の技法の突き彫り法で作成。必要な道具、ルクジュール・シーグを製作。小幅布2メートルに糊置きをし、写真資料の色を参考に各自顔料の混色を作り彩色白地上がりの後、地染め仕上げを行う。

【到達目標】

- ・古典文様を模写する事で、紅型の基本的白地型の工程を学ぶ。
- ・型紙を再現し、実際の生地に糊置きをする事で型彫りの線と糊置きで表される線の差異を認識する。
- ・紅型基本混色見本帳を基に、再現する色を混色し彩色する。
- ・全行程を体験した事で古紅型の造詣を深くする。

【授業計画・方法】

- 1 課題説明 資料映像で古典紅型の歴史的背景を学ぶ
- 2 古典紅型資料から各自模写する柄を選びそれぞれの柄の基本要素を学ぶ
- 3 柄の送り（連続模様の合わせ口）、布目の修正後の柄は位置を確認
- 4 型紙のサイズ設計
- 5 模写した下絵を型紙にトレース。吊りを入れる。型彫り。柄送りの確認。
- 6 紗張り（仮張り）吊り落とし。紗張り（本張り）
- 7 糊調整、糊置き 乾燥
- 9 地入れ 乾燥
- 8 彩色（配色）
- 10 彩色（二度刷り）
- 11 彩色（隈取り）
- 12 蒸し・水元
- 13 糊伏せ・地染め
- 14 蒸し・水元
- 15 模写した紅型端尺の講評会

【成果物】

- ・紅型染端尺 絹地基本顔料色見本

【評価の方法・基準】

□方法 作品60%・平常点30%・レポート10%

□基準

- 紅型の基本的工程を習得したか。
- 紅型独特の道具類を製作。使いこなせたか。
- 顔料彩色の混色・組み合わせを習得出来たか

【テキスト・参考文献（資料）等】

- 教科書 特になし
- テキスト 授業開始日に資料プリント配布
- 参考文献 王国の技『那覇氏族（具氏）福地家出世品（那覇市歴史博物館）
琉球紅型（京都書院）

【実習名】 型紙研究

【期 間】 1月20日（月）～1月24日（金） 5日間

【教 室】 染工房2、暗室

【担 当】 本田 昌史(非)

【課 題】 型表現（スクリーン製版）による捺染布を作る。

【授業概要】（テーマ）

パターン表現（繰り返しの美学）で、自分の今を超える模様をつくる。

【到達目標】

- ・ 作品制作において集中度を高め、正確に作業を行う。
- ・ 法則性と自由度の組み合わせ、バランスを考え、美しい形を発見、制作する。
- ・ 明快な目的を持ち、表現性を高める。

【授業計画】

- 1 課題及び技法の説明
- 2 技法のデモンストレーション
- 3 基本の形をさがす作業（色紙のカットワークから発想）
- 4 基本の形をさがす作業（墨のドローイングからの発想）
- 5 パターン構成の単位形態をつくる
- 6 パターン配列を考える
- 7 製版原稿をつくる（前期）
- 8 製版原稿をつくる（後期）
- 9 版をつくる準備
- 10 製版完成 版の修正
- 11 テストプリント 色糊準備
- 12 プリント作業の準備
- 13 プリント作業（1色目の捺染）
- 14 プリント作業（2色目の捺染）
- 15 プリント布の完成 清掃 合評会

【成 果】 3m程度のプリント布作品

【評価の方法・基準】

□方法 作品(成果物 75%)、平常点(25%)で総合的に評価する

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献（資料）等】

- 参考資料 マウリッツ・エッシャーの作品
ジャン・ジローの作品

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25321	染Ⅱ	14 単位 通年	3	実技	渡名喜はるみ 名護朝和 非常勤講師

■テーマ 多様な染色技法や形態を学び、自己の表現へ展開する。

■授業の概要

前期は写生を通して、独自の型染表現による作品制作を行います。また、伝統的な紙漉技法、日本の伝統衣装である着物の形態を学び、和紙染めや着物の絵羽制作に取り組みます。後期は、法被や帯を形態に多様な染色表現方法を修得し、型染の魅力を自己の表現へと展開させます。学年末に行う3年生展に向けて取り組み、作品を発表します。

■到達目標

- ・自然観察を通して、造形力、意匠力を養い、自己の表現へ展開する。
- ・伝統的な紙漉の工程や技法、着物の形態を理解する。
- ・写真撮影の基礎知識、コンピュータの基本操作を習得し、作品制作へ活かす。

■授業計画・方法

1. 課題説明（写生と観察について） 型染技法によるパネル作品制作について
2. スケッチ取材（動物園にて中型以上の動物を対象とする）
3. 型染、染色実践（直接染料使用）
4. 紙漉工程の解説 紙漉工程の実践
5. 型染技法による連続模様の制作について
6. 和紙の染色実践（顔料染色） モノクロームによる型表現について
7. 絹素材による絵羽模様の着物制作について 着物の形態、染色時の墨打ち解説
8. 計画に則り、着物の草稿実践、着物の染色実践、着物の仕上げ実践
9. 着物の仮縫い仕立ての解説と実践
10. 写真撮影、コンピュータ操作の基礎知識 ポートフォリオの作成方法（グラフィックソフト使用）
11. 沖縄の文化・自然をデザインして着る（法被の制作）
12. 計画に則り、法被の草稿実践、法被の染色、仕上げ（縫製）実践
13. 紅型技法による六通帯について 計画に則り、六通帯の顔料染色実践
14. 染色表現による作品制作について
15. 計画に則り、自由作品の実践
定期試験は行わない。 学習の成果として「3年生展」にて作品発表を行う。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

自然観察を通して新たな模様を発見する。そのための写生を行う。また、必要に応じてカメラ等の機材を活用する。説明会・講評会を無断欠席しない。各実習時の終了時に作品を提出し、自己評価を含め講評を行う。

■成績評価の方法・基準

□方法 各課題の評価(平常点30%、課題作品やレポートの提出70%)で、総合的に判定する

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

- 教科書 特になし
- テキスト 必要に応じて指示する
- 参考資料 各課題内で、関係資料の配付、DVD鑑賞等を行う
- 参考文献 各課題内で、参考文献を提示する

【実習名】 型染「平面」

【期 間】 4月9日（火）～4月26日（金） 14日間

【教 室】 染工房2・引染

【担 当】 平井 真人（非） 名護 朝和

【課 題】 型染（糊防染）技法によるパネル作品制作。

【授業概要】（テーマ）

モチーフを中型以上の動物として、スケッチ・観察を行い、自らの視点を明確にし、型染の表現力を学ぶ。

【到達目標】

- ・ 対象物（動物）の特徴を的確に捉えディフォルメする。
- ・ 彩色など、より効果的な表現方法を追求し、独自性の強い型染め作品を制作する。

【授業計画】

- 1 課題説明（写生と観察について）
- 2 スケッチ取材（沖縄市子ども未来ゾーン動物園）ディスカッション
- 3 モチーフについて 全体ディスカッション
- 4 制作意図提出（200字程度） 個別ディスカッション
- 5 白黒草稿について解説 スケッチ補足取材
- 6 草稿（原寸大90×120cm白黒）の実践（前期）
- 7 草稿（原寸大90×120cm白黒）の実践（後期）
- 8 型彫り（洋型紙）について解説
- 9 型彫り実践 防染糊の準備
- 10 型置きの実践（白黒、彩色 各1点） 地入れ
- 11 直接染料 染色実践（単色）
- 12 直接染料 染色実践（多色）
- 13 直接染料 蒸し・水元
- 14 パネル張り
- 15 片付け 清掃 合評会

【成 果】 パネル作品

【評価の方法・基準】

□ 方法 作品（成果物 75%）、平常点（25%）で総合的に評価する

□ 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献（資料）等】

特になし

- 【実習名】** 和紙（紙漉 四方連続 創作研究）
【期間】 5月6日（月）～6月6日（木）
【教室】 染工房2A 共通染場
【担当】 名護 朝和 安慶名清（非） 倉内 啓（非） 赤嶺 知咲（非）
【課題】 型染技法による連続模様の制作と、紙漉き制作ファイルの提出。

【授業概要】（テーマ）

沖縄の紙漉は、琉球王朝時代に首里を中心に発達してきた。本授業では、伝統的な紙漉き技法を用いて、和紙を制作し、演習のプロセス等を A4 ファイルにまとめ提出する。また、型染技法を用いた連続模様による和紙への染色を行い、多様な作品表現を学ぶ。その中で、学外から講師を招き作品鑑賞およびプレゼンテーションを行う。

【学習目標】

- ・伝統的な紙漉技法を学び、和紙の制作工程を理解する。
- ・四方連続の技法を修得し、テーマに沿ったイメージを和紙素材へ表現展開できる。
- ・和紙素材を用いた染色表現技法を習得する。

【授業計画】

- 1 課題説明 紙漉課題説明 琉球王朝時代の史跡見学
- 2 紙漉工程の解説
- 3 紙漉工程の実践
- 4 板張り 乾燥 製作工程のまとめ
- 5 連続模様の可能性（染色における和紙表現とは）
- 6 図案構想 モチーフ/スケッチ取材
- 7 図案構想（教員による個別指導）
- 8 図案作成（教員による個別指導）
- 9 和紙染色の解説（糊作り、和紙張り、顔料染色、水元）
- 10 和紙染色の実践（前期）
- 11 和紙染色の実践（後期）
- 12 和紙作品の鑑賞 スライドレクチャー
- 13 モノクロームの型表現による豊かな世界
- 14 モノクローム作品プレゼンテーション
- 15 連続模様による和紙作品 合評会

【成果】

創作研究課題 連続による和紙作品、手漉き和紙 レポート(A4)

【評価の方法・基準】

- 方法 作品提出(60%)、紙漉レポート(30%)、平常点(10%)で総合的に評価する。
 □基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献（資料）等】

- テキスト 各課題において資料プリントを配布
 □参考文献 『型絵染 伊砂利彦の作品と考へ』用美社

- 【実習名】 着物制作
 【期間】 6月7日(金)～7月22日(月)・31日(講評会) 31日間
 【教室】 染工房2A, 引染工房
 【担当】 渡名喜 はるみ 宇良 京子(非)
 【課題】 絹による絵羽模様の着物制作。

【授業概要】 (テーマ)

沖縄の風土をテーマに着物制作に向けてスケッチ。着物の実寸大の紙に描いたイメージ画にむけて、型紙の種類や染色方法を選ぶ。連続模様か、総絵羽柄かによってそれぞれが制作計画を立て、自己のコンセプトを着物形態で表現するまでのプロセスと、顔料、化学染料の効果を学ぶ。

【到達目標】

- ・久高島旅行で捉えた風景や自己テーマをスケッチブック等に記録する週間を身につける。
- ・小幅(37～39センチ)という制約の中で、構築し着物形態にする為の柄設計と柄割り振りの種類を学ぶ
- ・テーマに沿ったデザインを着物形態で表現する。
- ・絹素材の中で着物に適した種類と、その彩色材料に適した工程を学ぶ
- ・美術品であり、身に纏うものである着物表現への価値を見いだす。

【授業計画・方法】

- 1 課題説明 映像や参考文献で着物の技法と柄付け種類の解説
- 2 着物の実寸大草稿作成
- 3 モチーフデッサン、柄構図を持ち寄りディスカッション
- 4 コンセプトディスカッション
- 5 着物ひな形の色草稿
- 6 実寸大草稿
- 7 白黒草稿による色面・地のバランス確認
- 8 型紙用紙へ下絵トレース
- 9 型彫
- 10 紗張り(仮張り、吊り消し、本張り)
- 11 墨打、糊調整、糊置き
- 12 地入れ 彩色
- 13 蒸し・水元 白地上がり
- 14 糊伏せ・地入れ 地染・蒸し・水元
- 15 仮縫後の作品で講評会

【成果物】

- ・絹地絵羽模様着物

【評価の方法・基準】

□方法 提出作品60%、平常点30%、レポート10%

□基準

着物文化の中で培われた布のサイズを有効利用して柄表現が出来たか。

型染め・糊防染の効果を確認し美しい着物に展開出来たか。

絹地を染める為の材料、道具類を理解し、安全に配慮しながら蒸しまでの工程をスケジュール管理し記録出来るか

【テキスト・参考文献(資料)等】

- 教科書 特になし
- テキスト 授業開始日にプリント配布
- 参考文献 澤地久枝『琉球布紀行』新潮社 幸田文『きもの』新潮社
青木珠『幸田文の筆笥の引き出し』新潮文庫
- 参考資料 参考作品、DVD等

- 【実習名】 着物・絵羽（仮縫い）
 【期間】 7月24日(水)～7月30日(火) 5日間
 【教室】 染め工房2A
 【担当】 屋比久 珠代(非)
 【課題】 着物の絵羽を仮縫い仕立てで仕上げる。

【授業概要】（テーマ）

自分で染めた反物を裁断し長着に仮仕立てする。
 裁断前に各パーツの柄が絵羽模様につながるか確認し、仮縫い仕上げのサイズの確認をする。
 デザインイメージが展開出来ているか、確認しながら手縫いで仕上げる。

【到達目標】

- ・反物を着物のパーツに裁断し、縫い上げる事で着物の形・構成を理解する。
- ・着物の各部名称や畳み方等を学ぶ。
- ・完成品を通して柄の配置、着物地の柄行きをイメージ出来るようにする。

【授業計画・方法】

- 1 着物の基本、各部名称の説明
- 2 反物の確認（肩山、袖山、衿おくり等）
- 3 裾を揃えて畳み、裁断
- 4 背柄合わせ
- 5 背縫い
- 6 脇柄合わせ
- 7 脇縫い
- 8 おくり柄合わせ
- 9 おくり付け
- 10 衿下縫い
- 11 衿柄合わせ
- 12 衿付け
- 13 袖柄合わせ
- 14 袖付け 裾、脇、衿始末
- 15 講評会

【成果物】

- ・長着の仮縫い仕立て

【評価の方法・基準】

□方法 提出作品70% 平常点30%

□基準

- 着物構成が理解出来ているか
- 適切な縫い方が出来ているか
- 着物の各部名称を理解し、着物の保存を理解した上で畳み方が出来るか

【テキスト・参考文献（資料）等】

- 教科書 特になし
- テキスト 授業開始部に資料プリント配布
- 参考文献 特になし
- 参考資料 特になし

- 【実習名】** 作品撮影
【期間】 10月1日(火)～10月4日(金)・11月5日(月) 講評会
【教室】 コンピュータ室
【担当】 小高 政彦 (非)
【課題】 写真撮影の基礎知識とコンピュータの基本操作を習得する。
グラフィックソフトを使用し、ポートフォリオを作成する。

【授業概要】

自らの作品を素材として、撮影、加工、編集といった一連の作業をデジタルワークフロー上で行い、グラフィックソフト (Adobe Photoshop、Adobe Illustrator) を使用し、A4 サイズ (2枚以上) のポートフォリオの完成を目指す。完成したポートフォリオをもとにプレゼンテーションを行い、工夫点等を発表する。

【到達目標】

- ・写真撮影の基礎知識を習得する。
- ・コンピュータの基本操作を習得する。
- ・グラフィックソフトを使用し、ポートフォリオの作成方法を学ぶ。
- ・プレゼンテーションの方法を学ぶ。

【授業計画・方法】

- 1 ガイダンス
- 2 カメラの構造
- 3 デジタルカメラの使い方
- 4 写真撮影の基礎知識 前期 (シャッタースピード、絞り、ISO感度、相反則等)
- 5 写真撮影の基礎知識 中期 (被写界深度、色温度等)
- 6 写真撮影の基礎知識 後期 (ストロボの使い方、ライティング等)
- 7 コンピュータの基本操作
- 8 グラフィックソフトの基本操作 前期 (Adobe Photoshop によるスキャニング、色調補正等)
- 9 グラフィックソフトの基本操作 後期 (Adobe Illustrator による配置、レイアウト等)
- 10 グラフィックソフトの応用操作 前期 (Adobe Photoshop による角度調整、ゆがみ補正等)
- 11 グラフィックソフトの応用操作 後期 (Adobe Illustrator によるテキストボックス、ペンツール等)
- 12 グラフィックソフトの発展操作 前期 (Adobe Photoshop による画像合成等)
- 13 グラフィックソフトの発展操作 後期 (Adobe Illustrator によるプリントアウト、カラーマッチング等)
- 14 課題プレゼンテーション
- 15 講評

【成果物】 ポートフォリオ (A4 サイズ2枚以上)、デジタル写真

【評価の方法・基準】

- 方法** 作品提出50%・プレゼンテーション20%・平常点30%で総合的に評価する。
- 基準** 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献 (資料) 等】

- テキスト** 作品撮影プリント

【実習名】 型染研究

【期 間】 10月7日（月）～10月18日（金） 10日間

【教 室】 染工房2A・引染工房

【担 当】 兼先 恵子(非)

【課 題】 沖縄の文化・自然をデザインして着る

【授業概要】（テーマ）

本授業では、従来の型染め糊防染技法から、新たな表現技法の修得をめざし、浴衣地を用いて法被を制作する。

【到達目標】

- ・ 普段の生活の中で見過ごしているものを違った視点で捉えることで造形的な美を発見する。
- ・ 着るものという立体的な構成の中で効果的で独創的なデザインを考える。
- ・ 型という技法の概念と糊の可能性を発見する。

【授業計画】

- 1 課題説明
- 2 参考作品の鑑賞
- 3 スケッチをもとに小下絵（雛形）
- 4 染色表現の解説とデモンストレーション
- 5 実物大草稿紙作制、雛形の色草稿を作る。実物大草稿（線書き）
- 6 完成させた草稿のアウトラインをサインペンで書く。
- 7 法被の形態について（布の裁断）
- 8 裁断した布へ草稿をトレースする。
- 9 反応染料の色糊作り、アルカリ定着について
- 10 染色計画に則って作業（前期）
- 11 染色計画に則って作業（後期）
- 12 アルカリ定着について
- 13 染料定着、水洗、ソーピング、脱水後アイロンプレス
- 14 法被（縫製作業）
- 15 合評会

【成 果】 型染め技法とその応用による法被

【評価の方法・基準】

□ 方法 作品(成果物 70%)、平常点(30%)で総合的に評価する

□ 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献（資料）等】

特になし

- 【実習名】 帯制作
 【期間】 10月21日(月)～ 12月2日(月) (17日間)
 【教室】 染工房2A, 引染工房
 【担当】 渡名喜はるみ 名護 朝和
 【課題】 紅型技法による六通帯の制作

【授業概要】 (テーマ)

自由に選択したモチーフとデザイン展開(染地・白地)で六通帯(柄部分が6尺)を制作する
 着物での柄合わせ(絵羽)の制約から離れて、帯巾の中での自由闊達なデザインと色彩構成を楽しむ

【到達目標】

- ・古典紅型(型)で習得した技法を基に、創作紅型へ展開する。
- ・6尺の長さの中で白地型、半染地(半白地)の組み合わせで広がる表現を体現する。
- ・古典紅型で学んだ彩色を基に自己の色彩バランスで構成した作品に仕上げる
- ・今まで学んだ古典紅型・着物制作を基にオリジナルデザインでの制作期間のスケジュール管理、材料(染料・助材等)のレシピを作れるようにする。

【授業計画・方法】

- 1 課題説明 帯の種類、用途、着物との組み合わせ等の講義
- 2 帯素材の研究
- 3 各自のスケッチを基にディスカッション
- 4 モチーフ、テーマ設定・草稿
- 5 型罫設計の確認
- 6 トレース
- 7 型彫
- 8 紗張り(仮張り)
- 9 吊り落とし、紗張り(本張り)
- 10 糊調整 糊置き 乾燥
- 11 地入れ 乾燥(色見本作成)
- 12 彩色(配色)
- 13 彩色(二度刷り)、隈取り
- 14 蒸し、水元
- 15 講評会(白地上げ帯地)

【成果物】

- ・紅型染め六通紡ぎ白生地

【評価の方法・基準】

- 方法 提出作品60%・平常点30%・レポート10%
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する
 紅型技法でのオリジナルデザインに取り組めたか。
 顔料の混色方法を会得し、美しい色面構成が出来たか。
 六通帯の地染めまでのスケジュール管理が出来たか

【テキスト・参考文献(資料)等】

- 教科書 特になし
- テキスト 授業開始日に資料プリント配布
- 参考文献 特になし
- 参考資料 参考DVD

【実習名】 自由制作

【期 間】 12月3日(火)～1月29日(水)

【教 室】 染工房2A、引染、共通染場

【担 当】 渡名喜はるみ 名護 朝和

【課 題】 染色表現による作品制作

【授業概要】(テーマ)

従来の学習を基に、型染めの魅力を自己の表現方法として生し、3年生展での発表へむけて制作する。
作品搬入1月30日、31日 会期2月1日(土)～5日(水) 搬出6日(木) 午前

【到達目標】

- ・自身のテーマを決定し、これまでの制作を通して得た表現技法を踏まえ制作する。
- ・展示効果を考え制作することができる。

【授業計画】

- 1 課題説明(自由課題の制作と3年生展への取り組み)
- 2 コンセプトについて(考察アドバイス)
- 3 制作予定表の作成(教員による個別指導)
- 4 技法、工程、素材について解説(各個人へのアドバイス)
- 5 形態、技法、素材等の報告
- 6 スケッチ取材およびイメージスキース(雛形)
- 7 実物大草稿紙制作および色草稿
- 8 図案作成と工程の確認(教員による個別指導)
- 9 染色計画(教員による個別指導)
- 10 染色計画に則って作業(前期 各個人の制作について適宜指導)
- 11 染色計画に則って作業(中間 各個人の制作について適宜指導)
- 12 染色計画に則って作業(後期 各個人の制作について適宜指導)
- 13 仮縫い、パネル装丁、他展示に関する準備
- 14 展示会場の設営 作品展示
- 15 展示会場にて合評会

【成果物】 染色表現による作品

【評価の方法・基準】

□方法 作品(成果物 70%)、平常点(30%)で総合的に評価する

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献(資料)等】

特になし

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25323	染Ⅲ	15 単位 通年	4	実技	渡名喜はるみ 名護朝和 非常勤講師

■テーマ 基本となる紅型技法を考察し、卒業制作を行う。

■授業概要

前期は自己のテーマや素材、技法等を確立すべく、フィールドワークを中心に行う。その過程で、琉球藍研究や卒業研究（試作）に取り組む。後期は個々の研究制作に基づき、集大成として卒業制作に取り組み、卒業制作展にて発表する。教員の実務経験を背景にした指導を行い、地域社会との連携を念頭に具体的な方法論を実践的に学ぶ。

■到達目標

- ・基本となる紅型技法を考察し、自らの研究を定め個性ある創作表現を追求する。
- ・紅型様式および技法を踏まえた表現で、独創的で個性のある卒業作品を発表する
- ・卒業制作に向け、自ら計画立案し実行することができる。

■授業計画・方法

1. 前期卒業研究への取り組み 各自の研究テーマ報告
2. 前期制作計画およびコンセプト報告 形態、作業工程、素材、技法の解説
3. 琉球藍について（藍の生態）琉球藍について（藍の建て方、染色法等）
4. 藍型（エーガタ）作品の鑑賞 紅型技法の藍型制作について解説
5. 藍型制作の実践（前期） 藍型制作の実践（後期）
6. 試作制作について報告
7. 計画に則り、染色実践（前期）
8. 計画に則り、染色実践（後期） 卒業研究（試作作品）報告会
9. 後期卒業制作への取り組み 各自の研究テーマ報告
10. 制作計画およびコンセプト報告
11. 形態、作業工程、素材、技法の検討 図案作成と工程の確認
12. 染色計画 計画に則り、卒業制作（後期／報告）
13. 計画に則り、卒業制作（前期／制作）
14. 計画に則り、卒業制作（中期／制作）学内における卒業作品提出
15. 計画に則り、卒業制作（中期／報告）内覧会による講評会
定期試験は行わない。展覧会で発表する。（卒業作品展へ搬入、展示、搬出、講評）

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

課題説明・講評を無断で欠席しないこと。やむを得ず欠席する場合は必ず学科室に連絡すること。各実習の終了時に作品を提出し、自己評価を含め講評を行う。

■成績評価の方法・基準

- 方法 各課題（前期：試作作品 50%、琉球藍研究 A4 ファイル 30%、平常点 20%）（後期：卒業作品 80%、平常点 20%）をもとに染教員の合議により総合的に評価する。
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

- 教科書 必要に応じて指示する
- テキスト 必要に応じて指示する
- 参考文献 鎌倉芳太郎資料集 第1～2巻 沖縄県立芸術大学附属図書館・芸術資料館所蔵
紅型 琉球王朝のいろとかたち サントリー美術館（2012年発行）

- 【実習名】 卒業研究（試作） 琉球藍研究
 【期 間】 4月8日(月)～7月31日(水)
 【教 室】 染工房Ⅰ 引染工房 共通染場
 【担 当】 渡名喜はるみ 名護 朝和 城間栄市（非）
 【課 題】 自己のテーマに基づき、卒業研究（試作）の制作と琉球藍研究を行う。

【授業概要】（テーマ）

卒業制作へ向けて、紅型技法を基礎に各自の研究テーマと形態、技法、素材等を確立するため、卒業研究（試作）と琉球藍研究に取り組む。

【到達目標】

- ・ 紅型様式および技法を各自のテーマの表現方法の一つとして確立する。
- ・ 琉球藍研究を通して、琉球藍の生態、染色法や、紅型技法の藍型（エーガタ）制作工程を理解する。
- ・ 卒業制作へ向けて試作作品に取り組み、報告会にて発表する。

【授業計画・方法】

- 1 課題説明（前期卒業研究への取り組み）
- 2 各自の研究テーマ報告
- 3 前期制作計画およびコンセプト報告
- 4 形態、作業工程、素材、技法の解説
- 5 琉球藍について（藍の生態）
- 6 琉球藍について（藍の建て方、染色法等）
- 7 藍型（エーガタ）作品の鑑賞
- 8 紅型技法の藍型制作について解説
- 9 藍型制作の実践（前期）
- 10 藍型制作の実践（後期）
- 11 紅型様式および技法を踏まえ、試作制作について報告
- 12 計画に則り、染色実践（前期）
- 13 計画に則り、染色実践（中期）
- 14 計画に則り、染色実践（後期）
- 15 卒業研究（試作作品）報告会

【成 果】 卒業研究（試作作品） 琉球藍研究（藍染め作品 A4 ファイル）

【評価の方法・基準】

- 方法 作品（試作作品 50%）、琉球藍研究 A4 ファイル 30%、平常点（授業への参加度 30%）で総合的に評価する。
 □基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献（資料）等】

- 参考文献 ワイド判染織の美 琉球紅型（京都書院） 沖縄紅型 城間栄喜作品集（京都書院）

- 【実習名】 卒業制作
- 【期 間】 10月1日（火）～2月3日（月）
- 【教 室】 染工房1、共通染場
- 【担 当】 渡名喜はるみ 名護 朝和
- 【課 題】 自己のテーマに基づき、卒業制作を行う。

【授業概要】（テーマ）

大学4年間の集大成として卒業作品の制作を行い、卒業作品展にて発表する。

【到達目標】

- ・卒業研究（試作）を踏まえ、独創的で完成度のある卒業作品を提出する。
- ・自己の計画的に則り卒業制作に取り組む。

【授業計画・方法】

- 1 課題説明（卒業制作への取り組み）
- 2 各自の研究テーマ報告
- 3 後期制作計画およびコンセプト報告
- 4 形態、作業工程、素材、技法の検討（各個人へアドバイス）
- 5 図案作成と工程の確認（教員による個別指導）
- 6 染色計画（教員による個別指導）
- 7 計画に則り、卒業制作（前期／制作）
- 8 計画に則り、卒業制作（前期／報告）
- 9 計画に則り、卒業制作（中期／制作）
- 10 計画に則り、卒業制作（中期／報告）
- 11 計画に則り、卒業制作（後期／制作）
- 12 計画に則り、卒業制作（後期／報告）
- 13 学内における卒業作品提出 12月20日（金）
- 14 内覧会による講評会
- 15 卒業作品展へ搬入、展示

【成 果】 卒業作品 卒業作品展での発表

【評価の方法・基準】

- 方法 作品(卒業制作 80%)、平常点(講評等での発言、授業への参加度20%)で総合的に評価する。
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献（資料）等】

- 参考文献 型絵染 伊砂利彦の作品と考へ（用美社）